

## 気候変動の研究

## 東大准教授講演

鹿児島、100人聴き入る

東京大学大気海洋研究所の横山祐典准教授による講演「気候変動研究と鹿児島のサンプル」喜界島・屋久島の試料が語る過去の地球」が9日、鹿児島市のかごしま環境未来館であった。喜界島のサンゴから過去の気候変動が読み取れる

ことなどを話し、約100人が聴き入った。

鹿児島市の女性団体「国際ソロプチミスト鹿児島」(山口靖子会長)が主催した。環境保全に貢献する個人や団体に贈っている「環境貢献賞」に横山准教授を選び、10日の授賞式を前に記念講演会を開いた。

横山准教授は温暖化予測といった研究内容や、喜界島を「宝の島」と呼び、喜界島に研究に出掛けた際、子どもたちに「出前授業」をするなどしている活動が認められた。